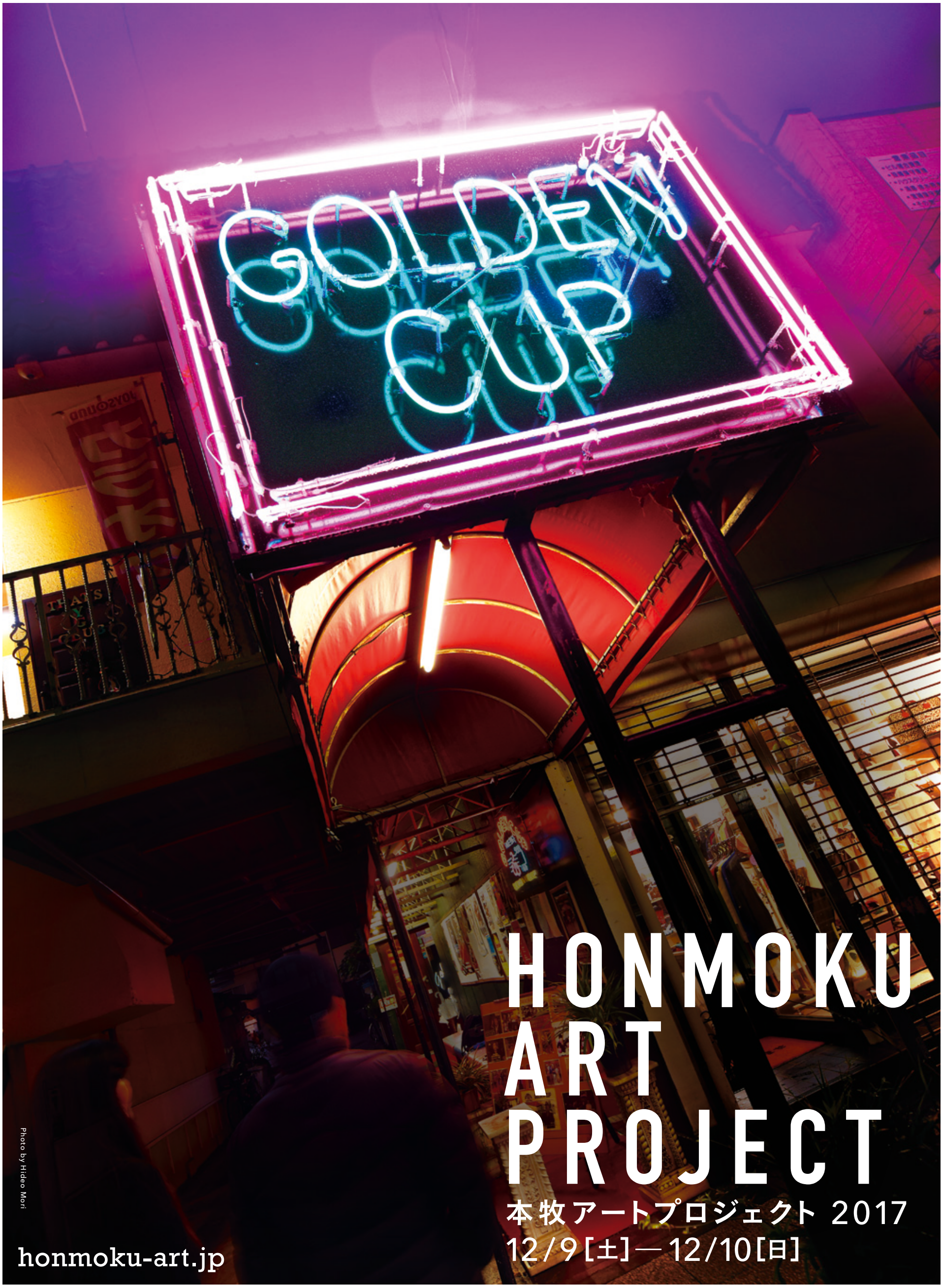
HONMOKU TIMES



Foreword

本牧の街がくれたもの

石神夏希

本牧アートプロジェクトに関わって 5 年目を迎えました。県内で育った自分にとって、本牧は高校生のときに制服で映画を観に来た街。閉鎖された映画館の青いカーペットを踏みしめるたび、当時の記憶が蘇ります。ただ私はそれ以前の本牧を知らないので、「アメリカ」が薫る当時の本牧の空気にどっぷりと浸って育った先輩方のお話を聞くたび、いつもまぶしいような、手が届かないような気持ちになりました。

それでもさまざまな人と出会い、出会いが次のご縁を呼んで、だんだんと自分にとって「ただいま」と言える場所や、「おかえり」と言ってくれる人ができてきました。その中には接収時代を知る人も、ニュータウンとして生まれかわってからやってきた人も、つい最近この街に引っ越してきた人もいます。そしてアメリカ以前の本牧、漁村や港町としての本牧にルーツを持つ人たちとも出会い、本牧の街の多様性に心惹かれるようになりました。

こうした出会いを、街を初めて訪れる人たちにも体験してもらいたい。そんな気持ちで 2015 年、本牧に積み重なる多様なコミュニティの皆さんと秘密結社を結成するという、街全体を使った演劇作品『ギブ・ミー・チョコレート!』を制作しました。

このタイトルに迷いや悩みがなかったわけではありませんし、たびたびご意見も頂戴しました。それでもこの言葉は今の子どもたちから接収時代を知る方まで多様な世代を貫いて、本牧にとっても日本人としての自分にとってもさまざまなことを想起させ、考えさせてくれる言葉だと思っています。

その後この作品は 2016 年度の再演を経て、メルボルン、そしてマニラでも現地のコミュニティの人々とともに再創作する機会を得ました。それは日本の中からは見えなかった別の視点から、戦時中の日本の記憶に触れる体験でもありました。国を超えコミュニティを超え、さまざまな出会いと自分が生まれてきた背景について考えるきっかけをくれた本牧の街に感謝しています。もしも興味を持ってくださる方がいたら、私なりのささやかなお返しとして、海の向こうでの「ギブ・ミー・チョコレート!」のお話をお伝えしたいです。どこか、本牧の街角で。

Natsuki Ishigami 石神夏希

1999年よりペピン結構設計を中心に劇作家として活動。近年は横浜を拠点に国内各地や海外に滞在し、横浜・メルボルン・マニラで創作・上演した『ギブ・ミー・チョコレート!』(2015-2017)をはじめ都市やコミュニティを素材にサイトスペシフィックな演劇やアートプロジェクトを手がける。また遊休不動産を活用したクリエイティブ拠点「The CAVE」の立ち上げなど、空間や都市に関するさまざまなプロジェクトに携わる。
石神夏希→12月9日[土]・10日[日]

本牧山頂公園　Photo by Hideo Mori

HONMOKU on site

「本牧アートプロジェクト2017」に参加するアーティスト/クリエイターによるインタビュー&コラム

本牧の夜2017
PANTA

→ 会場：ゴールデンカップ　日程：12月1日[金]

Photo by SHIGGY

ベトナム戦争の真っ直中、本牧が米軍施設に囲まれ米兵があふれていた1964年、12月にゴールデンカップはオープンした。

基地から手に入れた最先端の音楽をジュークボックスでかけていた店は、連日連夜、戦闘の合間の休暇を本牧で過ごす白人黒人が入り乱れ、踊りと喧嘩にふけり、朝まで饗宴が繰り広げられていた。

「ここへ来ると最先端の音楽が聴ける」という話が広まり、週末になると東京からも人の波が押し寄せたが、「憧れて来たけれど、怖くて入れなかった」と語られるほど一種独特なオーラを放っていた店であった。またここでは、著名な芸能人が来ても誰も取り合わず、かえってそれが当人たちにも居心地良く、素の個人でいられた時間だったようだ。

いち早く生バンドを入れ、ハウスバンドのザ・ゴールデン・カップスやキャロル結成前の矢沢永吉を輩出していったことは周知の通りであり、当時の衝撃を未だに語るミュージシャンも少なくない。

このゴールデンカップを起点に最先端の欧米文化や音楽、ファッション、ダンスを発信する街として名を広めた本牧は、その後も独自の文化やスタイルを生み出し、思うがままに走り続けた。だがその後、米軍施設が返還されるとともに徐々に衰退し、コントラストの強い光と影を焼き付けて来た街は昨今、往時を想わせる風景がなくなり、しばしの眠りについたかのように息を潜めている。ある意味、自分たちの意志とは関係なく一方的に街や住環境をいじられた「被害者」という運命を背負っている横濱と本牧は、反骨的な精神とプライドの高さを未だに抱え持っているように感じる。

その街、その店で、過激なパフォーマンスと革命精神に満ちた歌詞で表現の自由を獲得すべく戦ってきたバンド「頭脳警察」のPANTAが、時代と生き様を詩と声に乗せて叫び、語りかけてくれる夜、いったい何が起こるかが楽しみである。

（文：笠原彰二／「本牧の夜2017」プロデューサー）

ゴールデンカップの店内：「本牧アートプロジェクト2013／本牧の夜」より
Photo by Tadashi Mori

PANTA PANTA

1970年に頭脳警察としてデビュー。日本語の歌詞とオリジナリティー溢れる音楽性で高い支持を得る。日本ロックの元祖とも評され、若いミュージシャンに与えた影響は絶大で多くのフォロワーを生み出す。1975年に解散後、PANTA&HAL、ソロ活動を経て2001年に頭脳警察を再々復活。これまでジャンル問わず多くのアーティストへの楽曲提供やプロデュースほか、役者、執筆など多岐にわたり活躍。近年はソロとしても活動中。

提携企画

ジャック&ベティ 本牧映画特集
「ザ・ゴールデン・カップス　ワンモアタイム」

日程：12月9日[土]・10日[日]
会場：HONMOKU AREA-2

ベトナム戦争が激化する1960年代、米軍基地エリアを持つ横浜・本牧は外国人向けのクラブが立ち並び兵隊が街に溢れた。アメリカ文化を身近に感じながら育った本牧の若者達は、戦争の狂乱とは裏腹に音楽やファッションに強い憧れを抱き貪欲にすべてを吸収していった。1966年、その若者達が集まり日本初のR&Bバンド<ザ・ゴールデン・カップス>が結成された。ヤードバーズ、ゼム、ポール・バターフィールド・ブルース・バンドまで日本国内では紹介されていないブルースやロックを誰よりも早くレパートリーとし、抜群の音楽センスと演奏力で瞬く間に日本中の注目を浴びた。

解散から31年を経て、彼らの軌跡を追った映画「ザ・ゴールデン・カップスワンモアタイム」が完成。カップスをリスペクトするミュージシャン、著名人、関係者など総勢44名によるインタビュー叙事詩、更に34年ぶりとなるオリジナルメンバーによる本牧でのライブを実現し記録した。

映画は2004年11月にテアトル新宿にて公開され、カップスの魅力を余すことなく詰め込んだ130分の映像と大迫力のサウンドが大反響を呼んだ。その評判が瞬く間に広がり横浜はもとより全国で劇場公開され、カップスファンのみならず多くの若い音楽・映画ファンを魅了した。

The Golden Caps ザ・ゴールデン・カップス

1966年に横浜・本牧のクラブ“ゴールデンカップ”の専属バンドとして、デイヴ平尾(vo)やエディ藩(g)らによって結成され、67年にデビュー。翌年の「長い髪の少女」で全国的な人気を獲得するが、彼らの真骨頂はライヴやアルバムにおける英米のロックやR&Bのカヴァーにあり、その卓越した演奏力とフィーリングは他のGSと一線を画す存在であった。72年の解散まで、ミッキー吉野や柳ジョージなど錚々たるミュージシャンが参加した。

本牧の夜2017

HONMOKU NITE 藤中一郎×大貫憲章

→ 会場：HONOMKU AREA-2　日程：12月9日[土]

1970年代後半から80年代、本牧のディスコ「LINDY（リンディ）」はフリーチャチャの聖地として一世を風靡した。
若き頃にLINDYの店長を務め、現在も全国でフリーチャチャを広める活動を続けるICHIROこと藤中一郎さんに、ダンサー・内木里美がお話を伺いました。

内木　ディスコ全盛時代、LINDYは特別な場所だったんですか?

藤中　子供の頃からテレビで「ルーシー・ショー」とか見ていたから、アメリカに対する憧れがすごく強くあって、それが身近に感じられるのがベースキャンプのある本牧だった。LINDYで働いているダンサーがすごく好きで、憧れのディスコに行くためには本牧に住まなきゃいけないとなって、10代の終わりに南区から移り住んだ。当時はアメ車が走っていたり、クリスマスには聖歌隊が回ってきたり、ハロウィンではお菓子をもらいに子供が来るわけ。いろんな人種がいて、いろんな言葉が飛び交っていたしね。日米盆踊り大会があったり、ワイワイ騒いでバーベキューやってたり、市民レベルでは外国と日本がすごく密着していた。

内木　当時はどんなダンスを踊っていたんですか?

藤中　僕がリンディに入った70年後半、まさにフリーチャチャが流行り始めの時期。それから、リンディを中心にいろんなフリーチャチャが充実していって、ハマチャチャが第二完成期を迎えた。だから、僕が踊っているのは、今から40数年前、ダンス創世記に作られたステップなんだよ。それが横浜で作られたということがすごい!でも、本牧の人間は外から世界の情報が入っているに事足りちゃって外に行かないからこそ、今でもあの時代の本牧の雰囲気を知りたくて僕が呼ばれるんだと思う。全国各地でワークショップをやりながら、当時の混沌とした横浜の文化を体験した感動や声を伝えたい。

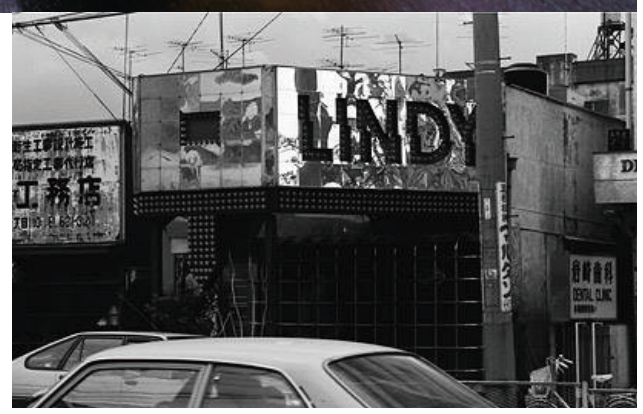
ムーンアイズにて　Photo by Hideo Mori

僕としては、あの時代の匂いをまとった踊りができたらいいなと思ってる。今の日本のダンスレベルは世界水準で、スキルは相当いい線いっている。音楽もそう。でも、ベテランのミュージシャンが短音ひとつで人を惹きつけるように、シルエットだけで踊っても、あれICHIROだろと言われるくらいまでになればいいなと。そこに枯れゆく大人の粋な部分も。

内木　それが、本牧の匂いですか?

藤中　ガキの頃から、アメリカの文化をうまく取り入れて粋に生きる親父どもを見てきたからね。粋にサクっと サラっとが僕のテーマ。生き方も、友人との接し方も、生活の仕方も。踊りとして表現するときに粋な立ち振る舞いでいようと思うわけ。最大限の褒め言葉は、カッコいいだから。

唯一、僕が心の支えにしているのは、ハマだから。どんなところよりも一番お洒落でカッコいい「YOKOHAMA」の文字が入ったTシャツを着ることで、背中を押してもらってる。だから、すごく横浜LOVEになっている。でも、そのベースは本牧。やっぱりLINDY。



本牧一丁目にあったLINDY

Ichiro Fujinaka　藤中一郎

Freedom Dance School主宰。伝説のDisco横浜本牧の「LINDY」元店長。その後、ダンスコンテストや様々なメディアに出てフリーチャチャを世に広める活動に貢献。独自のスタイルを進化させ続け、数々のイベント等にてショーケースを披露し続ける傍ら、フリーチャチャの推進活動のため、横浜のみならず全国をWS等で駆け巡る日々を送っている。

パフォーマ70 HONMOKU」HONMOKU AREA-2にて　Photo by Hideo Mori

Kensho Onuki　大貫憲章

音楽評論家、雑誌執筆、ラジオDJ、クラブDJ。1980年よりDJイベント「LONDON NITE」を主催。ほかにも多くのイベントを各地で開催するフリー・ロックDJの草分け。監修アルバムを各社より多数リリース。時代やジャンル、洋楽邦楽などの枠を超えた世界観で、多数のファン、フォロワーを今なお獲得している。(インター FM897「Kenrocks Nite - Ver. 2」DJ)

提携企画

内木里美『こどもディスコ Season 3』

→ 会場：HONOMKU AREA-2　日程：12月9日[土]　＊同日の「HONMOKU NITE」と昼夜で連携した形で実施します。

これまでの『こどもディスコ』 HONMOKU AREA-2 にて

2015 年の本牧アートプロジェクトの「本牧 AIR」アーティスト、内木里美による参加型ダンスプロジェクト。かつての本牧で流行っていたディスコをキーワードに、子どもたちからお年寄りまでたくさんの地域住民を巻き込んできたこのプロジェクトも今年で 3 年目を迎えます。毎年趣向を凝らし、1 年目は街の人たちのインタビューや地元企業提供の廃材を使った会場構成、2 年目はプロの空間美術やこどもカクテルも登場。今年は、本牧で衣装製作を手がける地元企業から布の提供を受け、お揃いの衣装を考案中。最終日は、もと映画館のホワイエを VJ の光で演出したディスコ空間が出現します。11 月中旬から、小学生向けの無料のダンスレッスンもあります。レッスンで覚えたステップや思い思いの振り付けで自由に踊ろう。

本牧のキッズダンサー募集！

日程：11 月 18 日 [土]・11 月 19 日 [日]・11 月 26 日 [日]・12 月 2 日 [土]・12 月 3 日 [日]・12 月 8 日 [金]・12 月 9 日 [土]
＊詳しい時間と場所はチラシまたはウェブサイトにてご確認ください。
場所：本牧中学校コミュニティハウス、大鳥中学校コミュニティハウス、HONMOKU AREA-2
講師ダンサー：内木里美／対象：小学生／参加費：無料／定員：各回先着 20 名
詳細・お問い合わせ：氏名・年齢・連絡先を記載してメールをお送りください。E-mail: artdisco2@gmail.com

Satami Niki

内木里美
小学校・幼稚園教諭免許をもつダンサー。TDLやEテレにて出演。「本牧アートプロジェクト2015」をきっかけに、『こどもディスコ』を発表。現代美術家山川冬樹のサポートを経てパフォーマンスグループLog±inn結成。off-Nibroll主催「ダンスインアジア2015スペシャルセレクション」選出。2017年「BankART Cafe Live」にて音楽家SKANKと共にダンス作品『金魚。鮒に還る。』発表。

REPORT

本牧アートプロジェクト
ワークショップリポート

10 月 11 日〜21日、本牧各所で作曲家・宮内康乃さんによるキッズプログラムを行いました。4 日間でのべ 150 人の子どもたちが声や呼吸のリズムを使って表現する楽しさを体験しました。

Yasuno Miyauchi **宮内康乃**
作曲家・音楽パフォーマンスグループ「つむぎね」主宰。楽譜ではなく、人の声や身体など、有機的な違いを生かした独自の作曲法で音楽を紡ぎ出していく。主宰するグループ「つむぎね」での声や空間を用いたパフォーマンスの発表や、老若男女様々な人たちと世代、人種、言葉の壁を越えて声を重ねるワークショップ活動「わ・つむぎプロジェクト」などを、国内外で多数実施。その他聲明や邦楽器など、伝統音楽をもとにした新しい表現にも取り組んでいる。本牧では、2017年1-2月「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」における間門小学校に続く2回目となる。

本牧山頂公園にて

10 月前半に、本牧エリアの 3 つの小学校の子どもたちとそれぞれ短いワークショップを実施し、最終的に本牧山頂公園にて合同でのワークショップを、つむぎねメンバーの横手ありさとともに行った。どこも始めは少し緊張と恥ずかしさにもじもじしていた子供達が、どんどん集中していろんな声色を表現したり、鈴の音の余韻に深く耳を澄ませたり、みるみる表現を開花させていき、ああ子供のまっさらな感性と飲み込みの速さにはかなわないなあと、あいかわらず驚かされた。

本牧地区はなんともおおらかな空気に満ちている。環境もとても恵まれていて、三渓園の風情や本牧山頂公園の清々しさ、街の雰囲気の人懐こさなど、足を踏み入れるたびに良い「気」に包まれるような感覚がある。その歴史の中で作られた安定したおおらかさの中で、子供達がのびのびと育っているようだ。ワークショップではそこで培われたものが存分に発揮された。

メインとなった本牧山頂公園でのワークショップ当日は、あいにくの雨模様で、屋外での実施は叶わなかったが、ガラス張りのレストハウスの中で、外の景色を見ながらの実施も気持ちの良いものだった。一部軒下に出て雨音を聞きながら、自然の音とともに声で森の風景を表現する活動もでき、皆目を閉じて耳を澄まし、子供によっては本当に動物が憑依したように体を動かして全身で表現する子もいて、声と身体の表現がまだ未分化だからこその豊かさを見ると、大人になるって進化するのか退化するのか、と考えさえられてしまう。活動の最後に子供達が手を挙げて一生懸命に感想を口にしてくれた。最初は先生の後ろに隠れて固まっていた女の子が、活動を通してみるみる開いていき、最後に凛とした表情で感想を言ってくれたのには、感無量だった。

ワークショップ活動はなんだか種まきのようだと感じる。ここで蒔いた種が子供達の中に息づいて、新しい才能を開花させるきっかけになったり、いつかわらべ歌のように、詠み人知らずでも歌が生きて形を変えながら伝わっていってくれたら、そんなことをひそかに目論んでいる。

（文：宮内康乃）

本牧 AIR：間瀬拓人

Sky Variations *cyrcle project #2 YOKOHAMA

→ 本牧エリアー帯　日程：11月11日[土]ー12月10日[日]

まず *cyrcle project（サァクル・プロジェクト）シリーズは、私たちの生活にありふれた日用品：針金のハンガーをアートの制作素材としてピックアップし、それを丸くデフォルメし様々な要素を空間に引っ掛けインスタレーションにするものです。そのブリコラージュ的な組み合わせの妙は、これまで時と場に応じて、朝顔が絡み（2001年 名古屋）、ロウソクが灯り（2003年 福岡）、蜘蛛の巣が張られ（2004年 オーストリア）、シャボン玉を飛ばす（2007年 大阪）など、国内外で様々な展開を見せてきました。

Sky Variations *cyrcle projectは、その輪になったオブジェを用いて、言わば宙に引っ掛かり空を引っ掛けます。

この空を題材としたプロジェクト、振り返ると実は、自分がまだアーティストとして駆け出しの二十歳時分に初めて渡欧した時、もう20年も前に遡ります。異国の地で決まった制作場所もなく安宿を泊まり歩き（今ほど本牧 AIR のようなレンジデンスという枠組みが認知されてない時代の話です）、それでも表現に向かおうとする中で、部屋のクローゼットからハンガーを拝借して、手に取ったそれをグニャグニャと曲げて衣紋掛けの形をほぐし、一端でねじり留められた一本の針金をどれだけ丸くできるかな〜・・・なんて手遊びしていたのが事の始まりです。

気に入った一本を窓枠に引っ掛け・・・もう衣類を掛ける用としては為さないただのオブジェ・・・しかし、ん？ ちょうど青空が見えるな・・・四角い窓の向こう、ヨーロッパの石造りの建物に囲まれ直線で切り取られた間から望む空、そこにすっぽりと輪っかを収めるように工夫してカメラのファインダーを覗き写真に収めました。次の日も次の逗留地でも、窓外の天色・景色は移り変われどその時々の空模様を写し続け、そうして作家個人の旅先の視点から点々と空を追ったドキュメントが残りました。

帰国後それらの丸くフレーミグされた空の写真は、あわせてフレーム アウトした景観部分を覆うフィルターとともにフィルムにプリントされ、貼り合わされて、黒い画面に空の断片が散りばめられたコラージュとして作品化されました。

先に挙げたようにプロジェクトは後にインスタレーションとして展開しますが、何も吊らない、ただそこに空（クウ）を見つめ、空（ソラ）を望む——言わば作家個人としてみれば原点回帰的アプローチでありながら、これを他者の視点も交えてみんなの見る空に広げていく参加型アートプロジェクトとして、ワークショップあり、合同ロケあり、時に関連企画なども催しながら、この先ワークインプログレスに横浜各地で展開します。

2017年、本牧 AIR での滞在制作を皮切りに、広く参加者を募り、それぞれの日常において見る景色、そこに光を与え色を添える空のコレクション。例えば本牧エリアで30人の秋の空、横浜各エリア合わせて100人超の四季折々の空を一大画面にコラージュしたらどんなふうに見えるのでしょう。作品の更なるスケールアップの果てに宇宙が広がるような・・・そんな空想をしたりしています。

Photo by Tacto Mase

Tacto Mase

間瀬拓人

1976年生れ、京都在住、美術家。1998年 CCA Kitakyushu リサーチプログラム：アーティストコース修了。以来、主に空間造形・インスタレーションを手掛ける作家活動を行う。近年の活動に、2011年 東日本大震災復興支援チャリティーアート展【O之基金】@ Gallery COEXIST（東京）／2015年 Sky Variations *cyrcle project #1 KYOTO @ KYOTOGRAPHIE KG+（京都）／2016年 〇窓 / ENSO project（phase I - III 京都）など。2017年4-6月 BankART Studio NYK のレジデンスプログラムに参加。

Sky Variations *cyrcle project #2 YOKOHAMA　参加者募集

このプロジェクトは、参加型アートプロジェクトです。撮影に使用する〈cyrcle オブジェ〉はこちらで用意していますが、ご家庭にあるハンガーを自分で丸くした自作オブジェでも可能です。また、撮影に際してのご質問や撮影した画像の取り扱いなどにも作家がフォローアップしますので、どなたでもご参加できます。ウェブサイトで詳細をご確認のうえ、奮ってご参加下さい。

http://j.mp/sv2-yokohama

日程：2017年11月

参加方法：下記いずれかの方法でご参加ください。

- **ご自身で撮影ロケを行う（作家のフォローあり）**
- **作家とロケに参加する（協働日程の調整あり）**
- **合同野外ロケに参加する（11月の毎週末を予定 / 各回10名予定）**

参加費：無料／お申し込み・お問い合わせ：cyrcle7z+sv2-yokohama@gmail.com

Photo by Kota Sugawara

本牧アンバサダー募集

本牧アンバサダーは、地域住民によるプロジェクトチームです。「大使」や「熱烈ファン」を意味するアンバサダーは、石神夏希さんの演劇作品をきっかけに昨年発足しました。アーティストと地域をつないだり、住民参加プログラムのアイデアを出したり、一緒にプログラムを運営したり。本牧のためになにかしたい、アートに関心がある、新しいことをしてみたい。ピンときた方はぜひ、お気軽にご連絡ください。

連絡先　inf@honmoku-art.jp

PROGRAM

本牧の夜 2017

【PANTA】

12月1日［金］20:00 開演（21:30 終演予定）

会場：ゴールデンカップ

料金：前売 2,500円・当日 3,000円／本牧割引前売 2,300円　当日 2,800円（定員50名）

出演：PANTA (vo, gt)

1964 年本牧に誕生したクラブ「ゴールデンカップ」。日本ロック黎明期に最新の音楽情報発信地であり、米軍相手に R&B を演奏していたバンド「ゴールデンカップス」が巣立った伝説の店として語り継がれている。50 年以上経っても未だ当時の熱気と余韻が立込めるこの特別な場所で、聴く者の胸にナイフのように尖った言葉と斬新なサウンドを突きつけ、日本のロックの元祖とも評された頭脳警察の PANTA が、時代と街と愛を奏で、叫ぶ。ディープな街「本牧」と「ゴールデンカップ」を体感する 1 夜限りの企画です。

【HONMOKU NITE 藤中一郎×大貫憲章】

12月9日［土］18:00 時開演（21:30 終演予定）

会場：HONMOKU AREA-2 ／ 3F ホワイエ

料金：1,800円・本牧割引 1,600円（当日券のみ取扱）

出演：藤中一郎、大貫憲章（DJ）

日本におけるダンス文化の発祥地の一つといわれる本牧。その横浜、本牧が誇るダンスのカルチャーと音楽にフォーカルした、巨大な空き店舗となったシネコン跡地で 1 日だけ開催するディスコ形式の企画。伝説のディスコ LINDY を中心に生まれたハマチャチャと、当時のダンスミュージックを中心とした DJ でのディスコタイム。ディスコブームを牽引したダンサー藤中一郎と、音楽評論家の大貫憲章による DJ がコラボレーション。ダンス・音楽の歴史や背景を楽しみながら体感してください。

本牧 AIR ／間瀬拓人

「Sky Variations *cyrcle project #2 YOKOHAMA」

12月9日［土］・10日［日］11:00-20:00

会場：HONMOKU AREA-2 ／ 3F シアター 2　参加費：無料

Sky Variations *cyrcle project シリーズ第 2 段として取り組む「横浜の空」。身の回りにありふれた素材：針金のハンガーを丸くデフォルメしたオブジェを用いて空をフレーミングし、オープンに参加者それぞれが切り取る多彩な空の表情を集め、それら断片化したイメージをコラージュしライトボックスに組み合わせ、最終的に一つの空を光で演出するアートプロジェクトです。今回の本牧 AIR では、広く参加者を募り本牧エリア一帯で撮影ロケを行い、週末には野外合同ロケやワークショップなども開催します。

→プロジェクト参加者募集（6 ページ）

企画：間瀬拓人／協力：神奈川県アーティスト・イン・レジデンス推進事業

提携企画：ジャック&ベティ「本牧映画特集」

12月9日［土］・10日［日］上映時間等・詳細はウェブサイトにて発表します。

会場：HONMOKU AREA-2 ／ 3F シアター 1

料金：各回 1,000 円／学生・シニア・本牧割引 800 円（当日券のみ取扱）

上映作品：「ザ・ゴールデン・カップス　ワンモアタイム」、「イイネ！イイネ！イイネ！」、他

「ザ・ゴールデン・カップス　ワンモアタイム」（2004 年 /130 分 / 日本 / アルタミラピクチャーズ）

製作：桝井省志／プロデューサー：土本貴生／監督：サン・マー・メン／出演・音楽監督：ミッキー吉野／出演：デイヴ平尾、ケネス伊東、エディ藩、ルイズルイス加部、マモル・マヌー、柳ジョージ、忌野清志郎、内田裕也、北野武、矢野顕子、李世福、CHIBO、陳信輝、横山剣、小金丸峰夫、井上堯之、ムッシュかまやつ、萩原健一、他

「イイネ！イイネ！イイネ！」（2016 年 /101 分 / 日本 / KATSU-do）

監督：門馬直人／脚本：一雫ライオン／出演：クレイジーケンバンド、横山剣、中野英雄、伊原剛志、金子賢、菜々緒、小嶋陽菜、秋吉久美子、他

企画・制作＆主催：株式会社 エデュイットジャパン シネマ・ジャック&ベティ

提携企画：内木里美『こどもディスコ Season 3』

12月9日［土］14:00-16:00

会場：HONMOKU AREA-2 ／ 3F ホワイエ

参加費：こども無料、一般大人 1000 円／本牧割引 800 円（当日券のみ取扱）＊小学生以下保護者同伴）

企画・構成・演出：内木里美／アシスタント：磯子工業高校ダンスサークル SWAG

2015 年の本牧 AIR アーティストの内木里美が企画した参加型プロジェクト「こどもディスコ」。幼児から大人まで、全ての方が参加対象です。事前に小学生向けの無料ダンスレッスンもあります。気分がのってきたら、振付のあるダンスショーケースにも参加してみましょう。

→ダンスレッスン募集（5 ページ）

企画・制作＆主催：内木里美／後援：株式会社 エムアンドエス、有限会社 ナイキスタンダード

石神夏希「タイトル（未定）」

12月9日［土］・10日［日］

＊詳細は後日ウェブサイトにて発表します。

TICKET

オンラインチケット予約

特設サイトの予約フォームから前日まで申込　honmoku-art.jp

《本牧割引チケット》

本牧に在住・在勤の方、山手駅及び根岸駅の定期券お持ちの方が対象です。

当日受付にて証明書類などをご掲示ください。

お問合せ

本牧アートプロジェクト 2017 事務局（NPO 法人 Offsite Dance Project 内）

Tel.090-6346-5820 / Fax.045-877-7838 / E-mail: info@offsite-dance.jp

ACCESS

会場

12/1：ゴールデンカップ

住所：〒 231-0806　横浜市中区本牧町 1-46

アクセス：市営バス「本牧 2 丁目」下車 徒歩 1 分

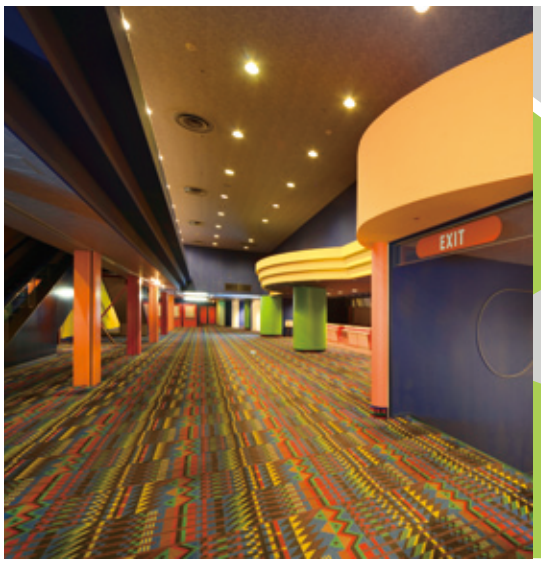
12/9–10 総合案内：HONMOKU AREA-2（旧マイカル本牧の映画館跡）

住所：〒 231-0821 横浜市中区本牧原 14 - 1 本牧 6 番街 2F

アクセス：市営バス「和田山口」下車 徒歩 1 分

- **横浜駅東口ターミナルより**
  2 番乗り場　8、58 系統　または　3 番乗り場　105 系統／約 35 分
- **桜木町駅ターミナルより**
  2 番乗り場　8、58 系統／約 25 分
- **JR 石川町駅より**
  バス停留所「元町」乗り場　99、101、105、106 系統／約 15 分
- **JR 根岸駅より**
  1 番乗り場　58、99、101 系統／約 14 分
- **みなとみらい線**
  元町・中華街駅より…バス停留所「山下町」乗り場　8、58、148 系統／約 15 分

※バス停「和田山口」までの所要時間：あくまでも目安です。道路の混雑状況によって異なります。



HONMOKU AREA-2（旧マイカル本牧の映画館跡）

横浜・本牧の米軍ベースキャンプ跡地が 1990 年代に巨大なショッピングタウン「マイカル本牧」に変わり、1996 年にシネマコンプレックスが開場。当時の名称は「マイカル松竹シネマズ本牧」。2004 年に「MOVIX 本牧」としてリニューアルされ、2011 年閉館。総面積約 2500m^2、8 スクリーン、1239 席を要した巨大スペースはスクリーンや客席は撤去されたものの、建築当時のままに残っている。「本牧アートプロジェクト 2014」で特別解放したことをきっかけに、2015 年夏から名称も新たに「HONMOKU AREA-2」として試験的運用を開始した。

Café Bar HONMOKU CINEMAS

HONMOKU AREA-2 にて、本プロジェクト開催期間中に、特設カフェ・バーがオープン。本牧のフードをお楽しみください。

主催：NPO 法人 Offsite Dance Project、本牧アートプロジェクト実行委員会
助成：横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト 2017、子どもゆめ基金
共催：HOCS（本牧コミュニティ・ステーション）、マグカル・フェスティバル実行委員会
特別協賛：株式会社エスタディオホールディングス
撮影協力：ゴールデンカップ、MOONEYES Area-1/MOON Café
後援：大鳥中学校コミュニティハウス、本牧中学校コミュニティハウス
協賛：kuusen、本牧玉家、株式会社 美濃屋あられ製造本舗、有限会社 大谷商店 電気部、株式会社 横浜君嶋屋、Honmoku Cake-ya yoko、本牧葬儀社 本牧ホール、秋山眼科医院、ようせいのいたずら、クラフトバル ココベリ、Moani Hawaii、横浜ロイヤルホテル、大ど根性ホルモン、天然ダンス工房、一般社団法人 ジャズ喫茶ちぐさ・吉田衛記念館、マーケットテラスカフェ石川町、有限会社 西木金物店、合名会社 川本屋商店／有限会社 小林薬局、株式会社 バインバレー
協力：神奈川県アーティスト・イン・レジデンス推進事業、シネマ ジャック&ベティ

STAFF　プロデューサー：岡崎松恵、笠原彰二／ web デザイン：加藤和也／写真：森日出夫／テクニカル・コーディネート：フィールズ
プランニング／運営スタッフ：高田展弘、亀山しゅういち、高谷 楓、小手麻記子、枝広昌己、海老沢あき子、小林イッセイ、本牧アンバサダーのみなさん

Sponsors

株式会社 エスタディオ ホールディングス

感動を創造する
総合エンターティメント企業

〒231-0013
横浜市中区住吉町4-45-1 関内トーセイビル 6階
TEL：045-662-1521（代表）　http://www.estadio.jp/

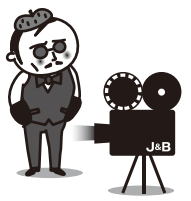
ゴールデンカップ

〒231-0806
横浜市中区本牧町1-46
TEL：045-623-9353（18時以降）
https://sites.google.com/site/goldencup1964/

シネマ ジャック&ベティ

横浜の2スクリーン・ミニシアター

〒231-0056
横浜市中区若葉町3-51
TEL：045-243-9800
http://www.jackandbetty.net/



kuusen

〒231-0849
横浜市中区麦田町 2-42
TEL：045-263-6323
http://www.kuusen.net

株式会社 パインバレー

横浜市中区本牧原 12-1
ベイタウン本牧5番街1F
TEL：045-309-6320　FAX：305-4006
http://yokohama-pinevalley.com/

横浜君嶋屋

〒232-0012
横浜市南区南吉田町 3-30
TEL：045-251-6880
http://www.kimijimaya.co.jp

ワイン・日本酒・焼酎 専門店

大谷家電

横浜市中区麦田町4-107
TEL：045-622-9084　FAX：625-1607
✉：GZG03127@nifty.com
https://ohtani-kaden.jimdo.com/

(株) 美濃屋あられ製造本舗

〒231-0802
横浜市中区小港町 1-6
TEL：045-621-4488
http://www.minoya-arare.com/

Honmoku Cake-ya yoko

横浜市中区本郷町 1-31
TEL：045-624-1014
フリーダイヤル：0120-455014
営業時間 9:00〜20:00（火曜定休）

オリジナルケーキ承ります

ようせいのいたずら

横浜市中区本牧宮原 2-6
本牧シーサイドプラザ102
TEL：045-628-2035
http://www.youseinoitazura.jp

クラフトバル ココペリ

横浜市中区麦田町1-35-1
TEL：045-264-4783
http://kokopelli.yokohama/
ランチ 11:00 - 14:00（土・日 - 15:00）　ディナー 17:00 - 23:00

Moani Hawaii

海を感じる雑貨店

〒231-0824
横浜市中区本牧三之谷22-3
TEL：045-228-8787
営業時間 11:00〜19:30　定休日 水、木

本牧玉家

〒 231-0824
横浜市中区本牧三之谷1-14
Tel：045-621-0407
http://honmoku-tamaya.com/

日中友好食処
本牧 玉家
和食/地魚/中華

本牧葬儀社 本牧ホール

〒231-0806
横浜市中区本牧町 2-323
フリーダイヤル：0120-4580-76（よこはまなむ）
http://www.honmoku.co.jp/

詳しくは、Webで!

秋山眼科医院

akiyama eye clinic

http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/
横浜市中区尾上町3-28 横浜国際ビル4階　TEL：045-641-9361
眼科【月〜金】10:00〜13:00　15:00〜18:00【土曜】10:00〜13:00
耳鼻咽喉科【月〜水】10:00〜13:00　15:00〜18:00【木・金】10:00〜13:00

横浜ロイヤルホテル

〒231-0806
横浜市中区本牧町 2-319
Tel：045-622-8917
http://www.royalhotel.co.jp/

大ど根性ホルモン

横浜市西区北幸2-13-4 横浜平成ビルB1F
TEL：045-320-3077
11:30-14:00（Lオーダー）　17:00-0:00
https://daidokonjyohorumon.owst.jp/

天然ダンス工房

横浜市中区大和町2-33-2
TEL：045-777-9664
✉：tdk-dance@jcom.home.ne.jp
http://tdk-dance.jimdo.com/

モダン・コンテンポラリーダンス
&ストレッチ＆ヨガスタジオ

ジャズ喫茶ちぐさ

横浜市中区野毛町2-94
Tel：045-315-2006
喫茶 12:00〜18:00　Bar 18:00〜22:00
http://noge-chigusa.com/

マーケットテラスカフェ石川町

横浜市中区中区石川町2-64
TEL：045-264-8370　FAX：264-8371
営業時間：9時〜20時　不定休
http://www.mtc-ishikawacho.net/

(有) 西木金物店

〒231-0023
横浜市中区山下町108 小黒ビル105
TEL：045-641-0527
http://www.nishiki-yh.jp/

まもなく創業100年
内装・リフォーム
カーテン、鍵
まずはご相談を!

川本屋茶舗

〒231-0045
横浜市中区伊勢佐木町6-146
TEL：045-261-7652　FAX：261-5991
http://www.kawamotoya.com/

(有) 小林薬局

〒231-0806
横浜市中区本牧町1-57
TEL：045-622-7147　FAX：621-5376
http://www.kobayashi-ph.co.jp/

保険調剤
健康食品
化粧品販売
美容相談
フォンテーヌ

HONMOKU AREA-2

映画館跡地を活用したオルタナティブスペース

運営コーディネート：HOCS
〒231-0821
横浜市中区本牧原14-1本牧6番街2F
✉：info@honmoku-area2.yokohama

HOCS
本牧Community・Station

編集後記：本牧アートプロジェクトは、今年で5年目を迎えます。2013年このプロジェクトの立ち上げから、本牧という強烈な土地のアイデンティティに誇りをもつたくさんの人たちに励まされ、叱られ（時に怒鳴られ）、それら丸ごとひっくるめて継続の力になったと思っています。ありがとうございます。今年は10月に本牧アンバサダーと企画した子どものワークショップで幕を開けて、11月からは本牧AIRアーティストの滞在制作がスタート。そして、12月には本牧に米軍ベースキャンプがあった時代に生まれた音楽やダンスをクローズアップしたプログラムが登場します。このプロジェクトを通じて、違う目線でまちを再発見したり、まちとの関わりが変わったり、アートをより身近に感じられたりするといいなと思っています。ご来場、お待ちしています！

HONMOKU TIMES 07
2017年11月13日発行
アートディレクション：阿部太一　カバー写真：森日出夫
編集・発行：NPO法人Offsite Dance Project
〒231-0834 横浜市中区池袋10-1-202
Tel.090-6346-5820　Fax.045-877-7838
E-mail: info@offsite-dance.jp

ヨコハマアートサイト